

ツール特集

社内配布用

プロジェクトリーダー読本

仕事の進め方とコミュニケーション¹⁵のツボ

ITコンサルタント 克元 亮

■ 目的を共有し、コミュニケーションを図れ！

それぞれ所属部門がありながら、臨時に参集したメンバーらでプロジェクトを組んで一定のアウトプットを出していく短期タスクフォース型の仕事がある。立場の異なるメンバーらが集まって、期間限定・目的達成をもって解散し、また新たなプロジェクトへ再編されるというのがよくあるスタイルだ。中小企業でも、「調査プロジェクト」「立ち上げプロジェクト」「イベントプロジェクト」「再生プロジェクト」など様々なタスクが日常的に動いている。

このとき、現場で最もプレッシャーを受けるのがプロジェクトリーダーであろう。その立場には必ずしも職制の裏付けがなく、一方通行の指示命令ではメンバーは全く納得しない。また、リーダー自身も個々の専門領域にまで関知しきれない。発足時点から終了の難しいチームをどうコントロールしていけばいいのか、リーダーにとって重く大きな課題だ。オーソドックスながら、ポイントは、①目的の共有化と、②コミュニケーションにある。本シートもこの2点を中心に、できるだけ汎用性のある要点をまとめている。各シートごとに役立つノウハウが凝縮されているので、リーダー任命時にでもご本人にお渡しできれば効果絶大だ。

(編集部)

構成

- No. 1 イマドキのプロジェクトリーダー心得
- No. 2 まず、ゴールを決めてしまおう
- No. 3 ゴールシートを作成する
- No. 4 プロジェクトシナリオの作り方
- No. 5 ウラ目的を作ろう
- No. 6 目標と緊張感をコントロールするには
- No. 7 メンバーが揉める場合の対処法
- No. 8 スピードを維持・向上させる方法
- No. 9 メンバーをどんどん巻き込もう
- No.10 メンバーとの日頃の会話を工夫しよう
- No.11 コミュニケーション(1) 自分を理解してもらう
- No.12 コミュニケーション(2) ユーモアを忘れない
- No.13 会議の進め方(1) ステップ
- No.14 会議の進め方(2) 意見・質問の仕切り
- No.15 常にリスクを考え、コントロールしよう

~~本シートのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方は editors@busi-pub.com まで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込みください。(TEL・FAXは不可)。2012年5月31日まで。~~

■ 克元 亮 (かつもと りょう)

1965年東京生まれ。大学卒業後、中小のソフトハウスを経て大手IT企業に移籍。数名から数百名程度のITコンサルティング、システム構築プロジェクトにてマネジメントを担当。プロジェクトマネジメント・コーチング・ファシリテーションを駆使した独自のリーダーシップ論を確立し、破綻プロジェクトを立て直す「火消しプロマネ」としても定評がある。主な著作に『SEの勉強法』(日本実業出版社)、『ITコンサルティングの基本』(日本実業出版社・共著)、『SEの文章術』(技術評論社)など。近著『しきる』技術(日本実業出版社)も好評発売中。

●E-mail: katsumoto.ryo@gmail.com

